

大学・高専機能強化支援事業
(高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援)【支援2大学】
事業概要

令和5年7月時点

選定年度	令和5年度	学校コード	F107110101273
大学名	福島大学	設置区分	国立
学校種	大学	都道府県	福島県
申請形態	研究科等の設置・増員 + 学部等の設置・増員 (一般枠)		

1. 事業概要

「課題即応型の実践力を有した高度情報専門人材」を育成する人材像に掲げ、震災・原発事故を経て特に複雑さが増す地域課題に接してきた福島大学の特徴を活かして、「探究体験に裏打ちされた実践力」と「現実課題に対する視野」を備えた情報専門人材の育成を目指す。

共生システム理工学類では、令和7年度実施予定のコース再編と同時に、入学定員を40名増員する（増員後の入学定員200名）。この増員により、情報理工学コース（仮称）とメカトロニクスコース（仮称）の収容定員を増強する。また、大学院共生システム理工学研究科共生システム理工学専攻（博士前期課程）の入学定員を令和9年度から20名増員する（増員後の入学定員60名）。この増員により、情報理工学コース（仮称）とメカトロニクスコース（仮称）の収容定員を増強する。

学士課程では、情報工学系進学希望者を対象に「**実践情報工学プログラム**」を実施し、学士課程の段階から大学院での学びや修了後の活躍像を含めたキャリアビジョンを獲得させる。博士前期課程では、海外実践演習や地域研究機関における研究インターンシップ等で構成する「**情報工学高度実践力プログラム**」、及び社会人や他分野学生の情報工学領域への転換を支援する「**情報工学リスキリングプログラム**」を実施する。

2.基本情報

大学全体の収容定員数等の変化（予定）

		博士課程	修士課程	大学院計	学士課程
大学全体の情報系組織の収容定員	増員前		40	40	240
	増員後		80	80	360
	増分	0	40	40	120
大学の全組織の収容定員	増員前		238	238	
	増員後		278	278	
	増分		16.8%	16.8%	
情報系組織の収容定員の占める割合	増員前		16.8%	16.8%	
	増員後		28.8%	28.8%	
	増分		12.0%	12.0%	

※正規課程の人数

※令和5年5月1日時点

改組・増員前の組織情報

課程		組織名	入学定員	収容定員	改組時期・内容
博士	情報系				
		計	0	0	
	情報系以外				
	計	0	0		
修士	情報系	共生システム理工学専攻 数理・情報分野	10	20	R9増員
		共生システム理工学専攻 物理・メカトロニクス分野	10	20	R9増員
		計	20	40	
	情報系以外				
	計	0	0		
学士	情報系	共生システム理工学類 数理・情報科学コース	25	75	R7増員
		共生システム理工学類 経営システムコース	25	75	R7増員
		共生システム理工学類 物理・システム工学コース	30	90	R7増員
		計	80	240	
	情報系以外	人文社会学群	685	2740	R15までに減員
	計	685	2740		

※情報系組織の改組・増員に関わる組織のみを記入。コース等で実施の場合はコース等単位で記入。

※学士の入学定員には編入学定員を含む。

改組・増員後の組織情報（予定）

課程		組織名	入学定員	収容定員	改組時期・内容	所在地
博士	情報系					
		計	0	0		
		改組前との差	0	0		
	情報系以外					
		計	0	0		
	改組前との差	0	0			
修士	情報系	共生システム理工学専攻 情報理工学コース	20	40	R9増員	福島県福島市金谷川1
		共生システム理工学専攻 メカトロニクスコース	20	40	R9増員	福島県福島市金谷川1
		計	40	80		
		改組前との差	20	40		
	情報系以外					
	計	0	0			
	改組前との差	0	0			
学士	情報系	共生システム理工学類 情報理工学コース	75	225	R7増員	福島県福島市金谷川1
		共生システム理工学類 メカトロニクスコース	45	135	R7増員	福島県福島市金谷川1
		計	120	360		
		改組前との差	40	120		
	情報系以外	人文社会学群	645	2580	R15までに減員	福島県福島市金谷川1
		計	645	2580		
	改組前との差	-40	-160			

改組・増員後の情報系組織の学位分野（予定）

課程	組織名	学位分野（主なもの6つまで）			
博士					
修士	共生システム理工学専攻 情報理工学コース	理学関係	工学関係		
	共生システム理工学専攻 メカトロニクスコース	理学関係	工学関係		
学士	共生システム理工学類 情報理工学コース	理学関係	工学関係		
	共生システム理工学類 メカトロニクスコース	理学関係	工学関係		

<基本情報>

改組内容: 研究科等の設置・増員 + 学部等の設置・増員

情報系組織名: <学士> 共生システム理工学類 (情報理工学コース(仮称)、メカトロニクスコース(仮称))

<修士> 共生システム理工学研究科 共生システム理工学専攻 (情報理工学コース(仮称)、メカトロニクスコース(仮称))

情報系組織の入学定員: <学士>【R7増員】改組前80名 → 改組後120名

<修士>【R9増員】改組後20名 → 改組後 40名

所在地: 福島県福島市

【改組の概要】

- 共生システム理工学類及び共生システム理工学研究科(博士前期課程)における**情報系コースの志望者増加に対応する入学定員増**
- 福島イノベーション・コースト構想、福島県デジタル変革(DX)推進基本方針をはじめとする社会的背景・ニーズを踏まえ、関連する地域課題に対してICTの質・量の両側面から応えるために高度情報専門人材の養成を強化
- 大学院修了見込み学生数を大きく上回る情報系技術職の求人。情報通信業・製造業大手企業等への人材輩出に加えて、福島・宮城地域の中小規模を含めた大多数の企業に情報人材を輩出してきた実績

【人材育成の特徴】

<方針> 「探究体験に裏打ちされた実践力」と「現実課題に対する視野」を備えた高度情報専門人材の育成

<教育内容の特徴>

実践情報工学プログラム(学士課程): 情報系進学希望者を対象として、学士段階から大学院での学びや修了後の活躍像を含めたキャリアビジョンを獲得させるとともに、本プログラム履修者を希望コースに優先配属するインセンティブを与える

情報工学高度実践力プログラム(博士前期課程): 海外実践演習や地域研究機関における研究インターンシップ等を通して実践力と視野を養成

情報工学リスキリングプログラム(博士前期課程): 社会人や他分野学生の情報工学領域への転換を支援

<職業観と自信・意欲の育成>

- 本学を修了した現役エンジニア等を招聘した講義等を通して、先輩が活躍する姿を知ること、「職業観」「情報専門人材としての自信・意欲」をあわせて育成
- 実務経験のある教員の経験を最大限活かした授業設計

<地域連携、就学支援>

- 地域自治体と連携した地域課題解決のための実践的演習
- 大学院進学者を対象とした福島大学独自の奨学金制度